

# 豊かなふるさとづくりは健康から

## 「健診」「施設」「啓もう」を推進

### 座談会 ——県民の健康づくり——

一九八〇年代を迎え、本県では私たちの郷土を真に豊かな、生きがいのあるふるさととするために「人間尊重、生活優先」の考え方にたつて、県民の多様な行政需要に対応した積極的な県政を推進し、新しい豊かさを目指したふるさとづくりに努力しています。

この豊かさとは、経済的な豊かさを中心としたものだけではなく、心の豊かさでもなければなりません。そのためにはまず県民が健康であるということが一番大切です。県では健康づくりの推進を積極的に展開しています。

そこで、きょうは清田衛生部長と三人の方にお集りいただき、「県民の健康づくり」について話し合ってもらいました。

#### 出席者

熊本女子大学教授	伊藤 基 記
熊本県栄養士会会長	西 郷 と し
天明町 主婦	西 村 美智子
熊本県衛生部長	清 田 幸 雄

(敬称略)

## 健康づくりの三本柱

清田 一九八〇年代を迎え、知事の年頭のご用始式の挨拶の中に、県政の柱として新しい豊かさを求める、この豊かさというのは経済を中心としたものではなく、心の豊かさであるというようなことをいわれたわけです。

心の豊かさを求めるということになりますと、まず体の健康ということが、非常に必要ではないかと私は思っております。

県民が健康であるということは、県政の発展の基盤だということがいえると思えます。

近年における社会環境の複雑化、疾病構造の変化に伴い、健康に対する価値観というものも心身に活力にあふれた状態にあるということが最近いわれております。

従いまして、現在及び将来における保健衛生行政というものも、様々な社会事情の変化や健康に対する考え方の変遷を背景とする保健需要の多様化に対応していく必要があると考えています。

具体的に申し上げますと、疾病構造の面では、伝染性疾患というものが激減してきた半面、成人病というものが非常に増加しています。成人病による死亡が六〇%以上を占めており、人口の老齡

化に伴い益々増患傾向にあるということがいえると思えます。

伝染病の場合は、社会防衛的な面もございまして、行政が強力に対応してきた結果、だいぶ成果があがっておるわけですが、成人病の場合は、日常生活の態度、あるいは食生活というものに深くかわりあいがあります。そのようなわけで、一人ひとりが自分の健康は自分で守るという自覚と認識をもって対応していただくことが必要だろうと思えます。

そういうような観点で県としましては、県民の健康づくりの推進ということを積極的に展開しようということですが、その一環として、今年一月を健康づくり月間としまして、健康に対する啓もう普及活動を実施しました。

この月間の中で、一月十五日から二十日まで健康づくりフェアを、一月二十八日に県民健康づくり大会を開催したわけですが、

県民健康づくりの概要を述べてみますと、健康づくりの三本の柱として「生涯を通じる健康づくりの推進」「健康づくりの基盤整備」「健康づくりの啓もう普及活動」、この三つを設けております。

「生涯を通じる健康づくりの推進」と

いいますのは、健康を保持増進するために、検診、健康診査を行うと同時に、その結果によって保健指導をやっていくということと、全県民階層を通じてやるということとです。

「健康づくりの基盤整備」というのは、健康づくりに必要な施設の整備を図ろうということと、大きなものとしては、現在検討中でございますが、総合保健センターをつくって県民健康づくりの中核的な機関としたいと考えています。そして市町村段階では、市町村保健センターというものの設置をすすめていただき、市町村段階での健康づくりをすすめる芽としていただきたいということで施設の整備に努めております。

それから健康づくりを推進するについては地域における保健マンパワーの育成強化を図る必要があり、五十四年度には、健康くまもと推進員を養成するための講習会を開催しております。これは各医師会、歯科医師会単位に市町村で、健康づくりに世話をさせていただくような方を養成していただくということで、衛生教育を医師会に委託して行っております。

また、健康づくりのための調査研究ということで、患者の実態調査、それから母子保健専門研究会を設けて調査研究を実施しております。患者の実態調査というのは、医療機関にお願いしまして、昨年九月十四日の患者の実態を調査したわ

けです。熊本県内にどういった疾病が多いか、地域的な格差はないかというのを知るための調査です。

「健康づくりの啓もう普及活動」につきましては、先程申し上げましたように月間の設定、これに伴う各種の行事を実施しましたがそれに先立ちまして、健康問題について県民の方に関心をもつていただくということで健康づくりの作品募集をいたしました。ポスター、シンボルマーク、作文、標語といったものを募集しました。

その他にもいろいろやっておるわけですが一応、県民健康づくりの柱としましては、この三本の柱でやっていくということとでございます。

そして、これの推進体制としましては、市町村段階では、市町村の健康づくり推進協議会というのをもっていただいで、これは市町村の健康づくりの施策等を、この協議会で検討していただき、その市町村自体の地域にあった健康づくり運動を展開していただくということとです。

その上の段階としましては、保健所単位に健康づくり推進協議会の地域部会というものがあります。県段階では、熊本県健康づくり推進協議会というのを発足させております。

さらにその上には、県民の健康問題について、あらゆる面から審議いただき、それも具体化しようということで、